



第9回女性起業家大賞・スタートアップ部門 特別賞

介護を通じて、地域社会に貢献

有限会社ナンクルナイサーケアネット 代表取締役 乾 由香

社員と共に「温かい」サービスを追求

自身の経験を元に創業

約5年前、高齢者や障害のある人の在宅支援サービスを提供しようと創業したのが、ナンクルナイサーケアネットです。

きっかけは、母や祖母の介護経験を通じて、同じ悩みを抱えている人の役に立ちたい、と思ったこと。ホームヘルパーの資格を取得し働きだしたのですが、社会経験を積むうちに、自分の中で向上心が芽生えていくのを感じました。そして、会社を経営するという夢を持つようになり、夫の協力を得ながら事業をスタートさせました。

業績悪化が大きな転機に

一期目、二期目と順調に業績を伸ばし、さらには念願だったドッグセラピーのボランティア活動も始めたところ、この取り組みが話題を呼び、訪問依頼や取材が殺到。金銭面だけでなく人材面においても心配事は何一つなく、全てが順調でした。

しかし、好調な状態は長くは続きません。経営理念もなく、思い付きで始めたような企業だったの

で、社員との意思疎通がうまく回れず、次第に彼らとの距離が開いていくのを感じました。それに伴い、業績も後退。しかも私は、この悪い流れを社員のせいにしていました。

そんなときに、ある社員から「なぜうちの会社には、明文化された経営方針がないのか」という質問を受け、その一言が、大きな転機となりました。

それから私は、セミナーなどに通い、経営を学び直しました。そのおかげで、それまでの自分が経営に必要な「危機感」ではなく、「不満、不平、自己満足」で取り組んでいたことを痛感したのです。そして、この反省を踏まえ、一からやり直そう、と決心しました。

異業種人材も積極的に採用

まず、経営指針書の作成をはじめ、就業規則や人事制度の見直しに着手。さらに、ホームページの開設なども行い、できることから一つずつ実行していきました。また、文書化するという作業を通して、社員とのコミュニケーションも図ることができ、以前は見逃しがちだった彼らの力を再確認することにもつながりました。

そうするうちに、信頼関係が築かれ、自発的に仕事に取り組んでくれるようになりました。また、最近では、新しい発想や提案をどんどん受け入れようと、異業種からの転職者も採用しています。そして、これらが功を奏し、利用者の満足度も向上しているようです。

今期は、職場環境を整備するために、事務所を移転。社員がくつろげる空間を増設し、ここを地域の交流スペースとしても開放しています。さらに今後は、障害のある人の雇用を支援しようと、カフェの開設も視野に入れています。

社員が放ったあの一言が、私の経営観、人生観を変えてくれました。弊社の最大の武器は、社員です。これからも、地域社会のためにできることを彼らと共に探しながら、誇りの持てる仕事を続けていきたいと思っています。



有限会社ナンクルナイサーケアネット (大阪市)

平成18年創業
介護保険・障害者自立支援事業など
<http://nankur.com/>